保存版

865YLA ／ デスク

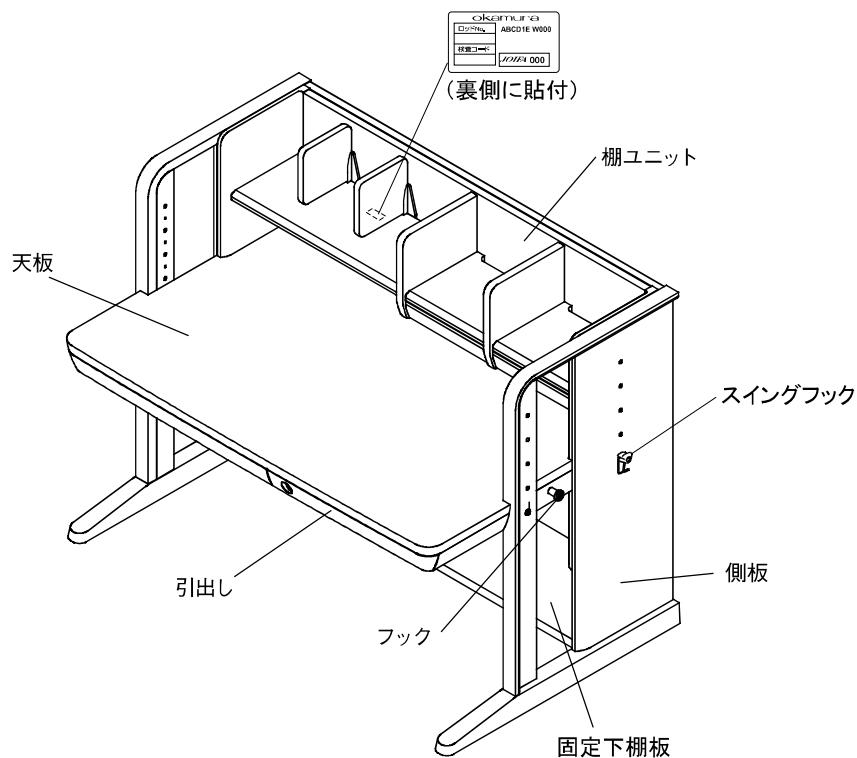
組立・取扱説明書【保証書付】

このたびはオカムラスタディデスクをお買い上げいただき、誠に有難うございます。
この組立・取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解された上、正しく組立てご使用いただくようお願いいたします。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表しています。

組立て完成図（各部の名称）

okamura
ロット№ ABCD1E W000
検査コード J01E1 000
（裏側に貼付）
棚ユニット
天板
スイングフック
側板
引出し
フック
固定下棚板

okamura

⚠ 注 意

⚠ 組立て上のご注意

●説明書をよくお読みの上、組立て部品を残さず使用し、ネジはドライバーで確実にしめ、正しく組立ててください。組立てが不完全ですと、転倒事故や破損の原因となり危険です。
●組立ての際は、電動ドライバーを使用しないでください。必要以上の力がかかると商品を傷つけたりボルトが外せなくなる恐れがあります。
●組立てパターンにより、使用しない部品、部材が生じる事があります。組替え時には必ず必要になるため、大切に保管してください。部品紛失の場合は再度ご購入していただくこととなりますのでご注意ください。
●組立後、平ら場所にて製品の本締めを行い、各部がしっかり取付いているか確認してください。

⚠ 取扱い上のご注意

●この製品を乱暴に取扱ったり用途以外での使用はしないでください。
●製品のいずれの場所にも絶対に体重をかけたり、乗ったりしないでください。転倒および破損の原因となり大変危険です。
●鍵は開け閉めの際、深く差し込んでから回してください。また、回し過ぎないようにしてください。鍵や錠が破損する恐れがあります。
●製品に載せるものの重さは必ず最大積載質量以内にしてください。最大積載質量より重いものを載せると、転倒や破損の原因となり大変危険です。

天板最大積載質量	40kg（等分布静荷重）

等分布静荷重とは・・・
天板に均等かつ持続的に質量をかけることを意味します。部分的かつ瞬間的な質量をかけると転倒や破損の恐れがあります。

⚠ 据え付け上のご注意

●水平な安定した場所を選んで設置してください。床が傾斜している場所や不安定な場所で使用しますと、転倒や事故の原因となり危険です。
●日光が直接あたる所、温度の高い所や湿気の多い所でのご使用は変質・変形・変色のもととなりますので避けてください。
●製品の据え付け及び移動するときは、床を引きずらないで、必ずお二人で持ち上げて行ってください。（床を傷つける原因となります。）
●棚ユニットを載せる樹脂ダボ位置は、天板高さ号数と合わせてP5表を参考に決めてください。P5表以外の穴には取付けられませんのでご注意ください。

⚠ 末永くお使いいただくために

●熱いものを直接製品の上に載せないでください。変質・変形・変色の原因となります。
●製品にはシールやセロテープ等を貼付けないでください。表面材がはがれる原因となります。
●硬いもので製品をこすったり、下敷きなどを使用せずにボールペンなどの先の硬いもので書きものをしないでください。変形・キズの原因となります。
●製品の上をぬらしたままにしたり、ぬれた布などを放置しないでください。
表面材のソリやフクレの原因となります。ぬれた場合は水分が残らないようにすぐにふき取ってください。
●金具がゆるんだまま使用していますと、変形・破損および転倒の原因となり大変危険です。定期的に金具がゆるんでいないか点検し、ゆるみの箇所はしっかりと締め直してください。
●本製品は素材特有の臭いがすることがありますので、定期的に換気をすることをおすすめします。

⚠ お手入れについて

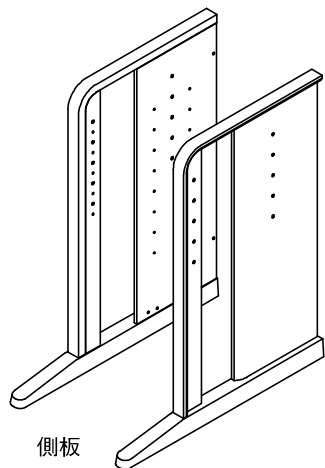
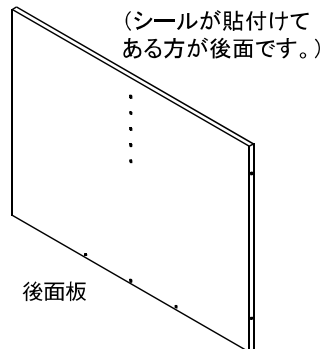
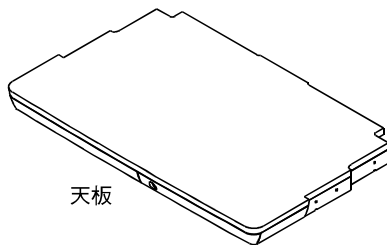
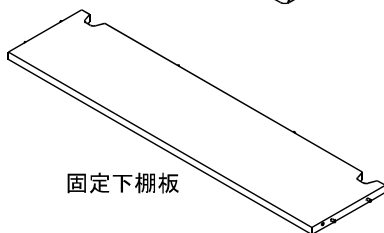
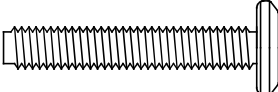
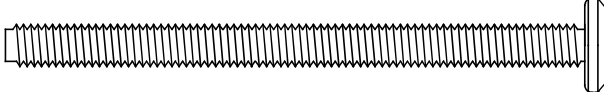
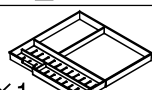
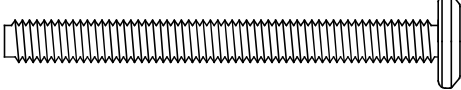
●硬くしぼった布でふいてください。汚れがひどい時は中性洗剤をうすめてふき取り、あとで洗剤が残らないよう、硬くしぼった布できれいにふき取ってください。絶対に水分が残らないようにしてください。
●アルコールやシンナー系の溶剤は表面を傷めますので絶対に使用しないでください。

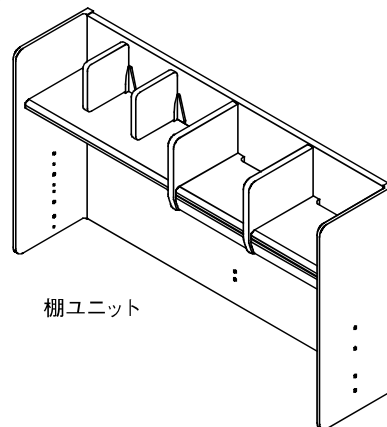
警告ラベルの位置と内容

天板号数		②	③	④	⑤	⑥
棚下収納	CD	H	G	F	E	D
	B6	G	F	E	D	C
	A4	E	D	C	B	A

※警告ラベルは、はがさないでください。

部品明細（組立て前に必ずご確認ください）

デスク

側板

後面板

天板

固定下棚板

上棚

棚ユニット

コネクトボルト（M6×35mm）	実物大
×5	

コネクトボルト（M6X80mm）	実物大
×1	

コネクトボルト（M6×60mm）	実物大
×3	

フック	キー	整理トレー
×2	×2	×1

樹脂ダボ（平）	天板受けダボ	穴埋め用キャップ（8mm）	片側連結ボルト（24mm）	リング	スイングフック
×4	×4	×3	×6	×6	×1

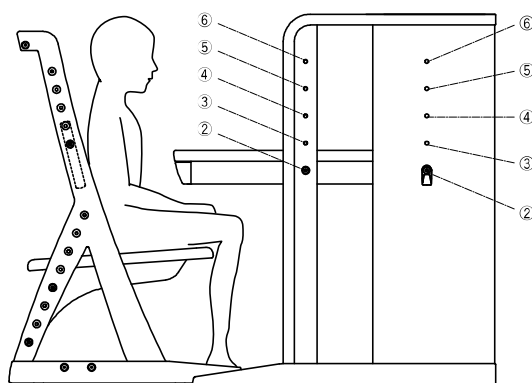
- 組立てには＋ドライバーを使用しますのでご用意ください。
  電動ドライバー等の電動工具を使用すると、商品を破損させる恐れがあります
  ので、手回しのドライバーを使用してください。
- 部品は、組立てパターンにより余る場合がありますが、後々の組替え時に必要
  となる為、大切に保管してください。

デスク天板の高さについて

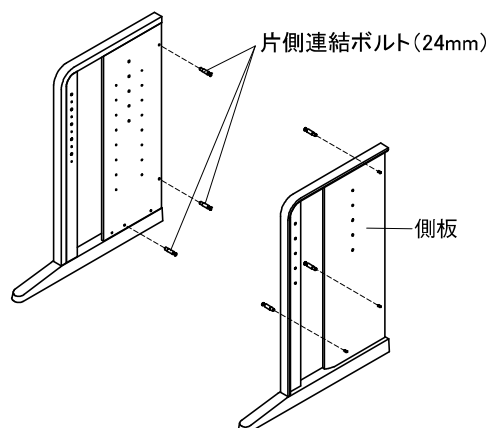
オカムラ ピエルナシリーズデスクは学校用家具のJIS規格2号（身長約120cm）から6号（身長約180cm）に対応して、5段階で天板高さを調整することができます。

右の図は各JIS号数に対応した、組立て時のボルト取付け位置を示したものです。

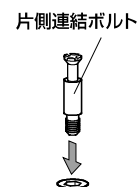
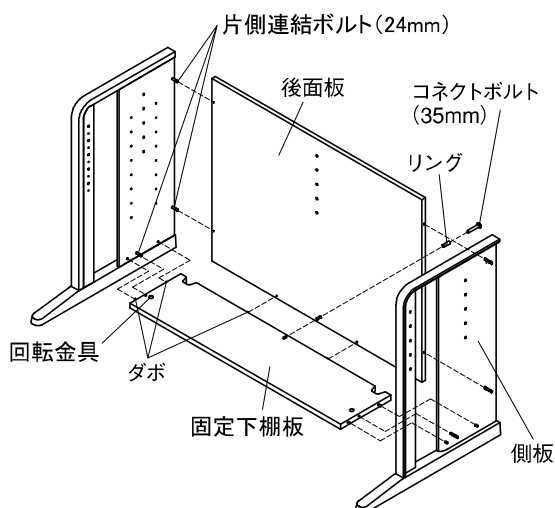
別売で専用のイスをご用意しています。デスクと組み合わせることにより、適正な位置でご使用できます。

お子様の身長に合わせた高さをお選びください。

号数		②	③	④	⑤	⑥
標準身長		120	135	150	165	180
机	天板の高さ	52	58	64	70	76
イス	座面の高さ	30	34	38	42	46
	座面の奥行き	29	33	36	38	40

デスクの組立て（上棚タイプ・下棚タイプ共通）

1 側板への連結ボルトの取付け

①左右それぞれの側板に3ケ所ずつ、片側連結ボルトをねじ込みます。

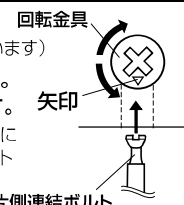
Point 〔連結ボルトについて〕

連結ボルトを鬼目ナットにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。

2 側板・後面板・棚板の取付け

① 図の様に、左右どちらかの側板の、3ケ所の片側連結ボルトに、後面板と固定下棚板を差込みます。 この時固定下棚板のダボを後面板の穴に合わせながら差込んでください。
それぞれ回転金具を右に回して締め付けてください。
※後面板は、シールが貼付けてある方を後面としてください。
※固定下棚板は、回転金具が見える方を上面としてください。

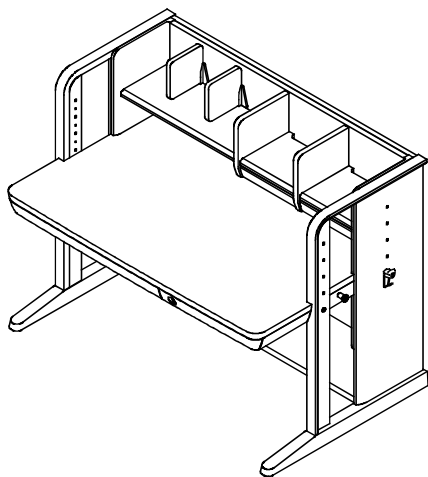
② ①と同様に、もう片方の側板を取付けてください。

③ 後面板の後側下部の穴にリングを挿し込み、コネクトボルトを後側より締め付けて、固定下棚板を固定します。

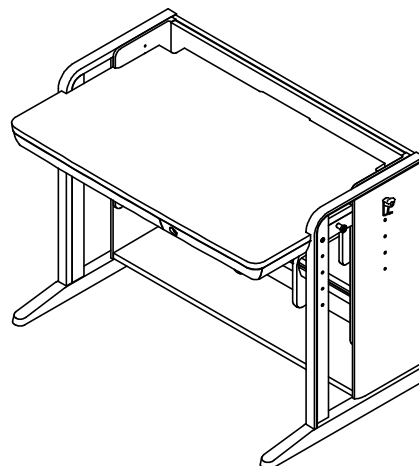
Point 〔回転金具について〕

回転金具
（部材に埋め込まれています）
右に回すと締ります。
左に回すと緩みます。
矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルトが入り（外れ）ます。

3 棚ユニットの取付け

上棚は、大きく分け2種類のタイプがあります。
どちらの取付けにするか、予め決めてから組立てはじめてください。

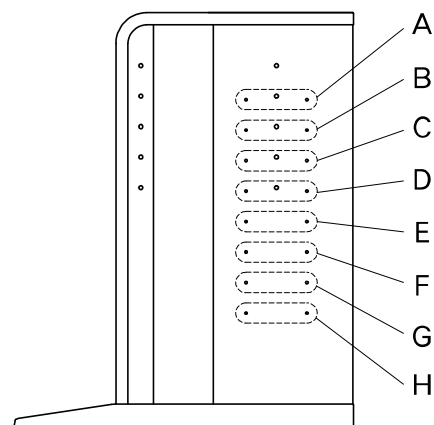
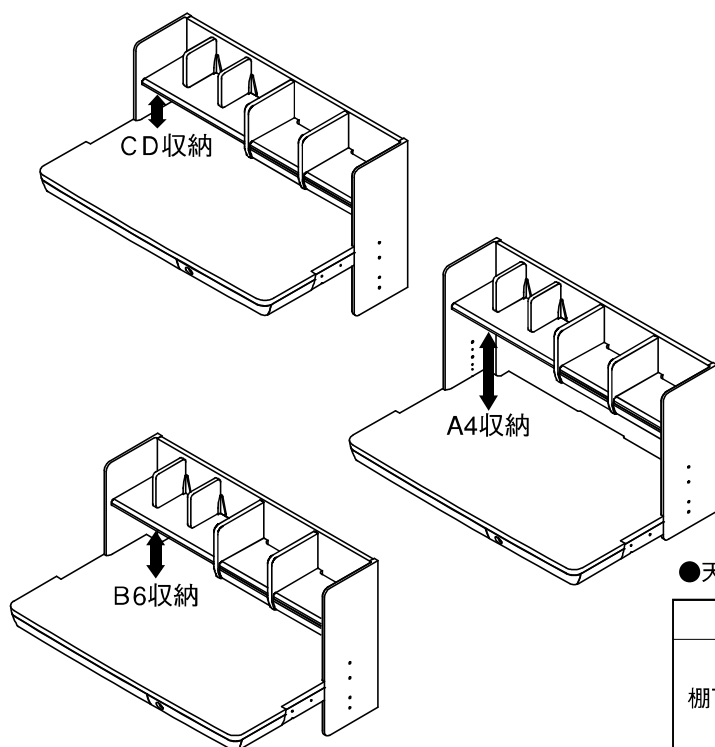
3-1 上棚タイプ

上棚に分割仕切板、着脱仕切板を使用できます。
※組立て方法の詳細はP5をご参照ください。

3-2 平机下棚タイプ

※天板高さ最上段(JIS6号)時のみ、平机下棚タイプを構成できます。

下棚に分割仕切板、着脱仕切板を使用できます。
※組立て方法の詳細はP8をご参照ください。

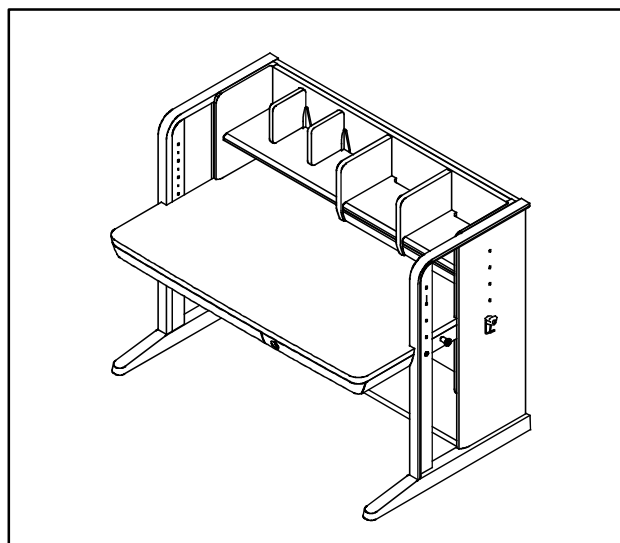
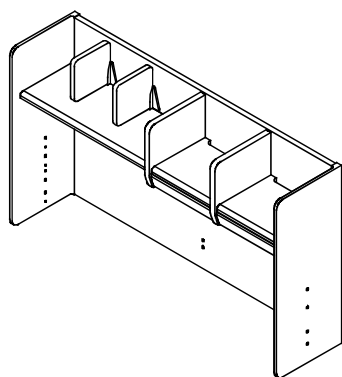
3-1 棚ユニットと天板の高さについて(上棚タイプ)

棚レイアウト

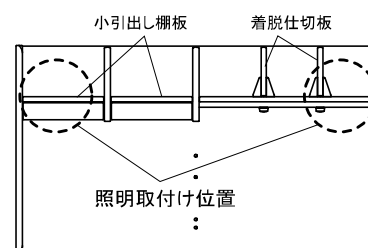
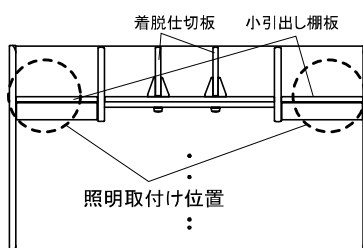
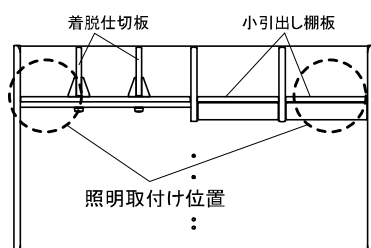
棚下高さは、下の3通りから選ぶことができます。
棚ユニットを載せる樹脂ダボ位置は下の表を参考にしてください。

●天板号数と棚下高さに対応した樹脂ダボ位置

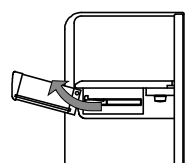
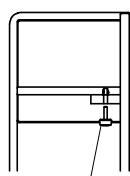
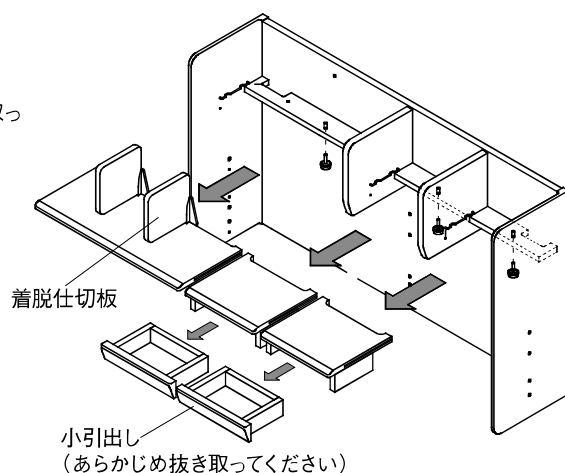
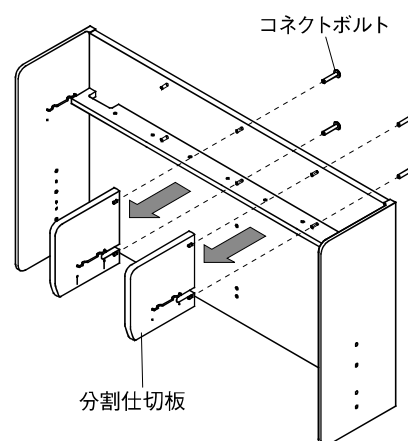
号数		②	③	④	⑤	⑥
棚下	CD収納	H	G	F	E	D
	B6収納	G	F	E	D	C
	A4収納	E	D	C	B	A

※表記以外の穴には取付けられませんのでご注意ください。

4-1 棚ユニットの機能と使い方（上棚タイプ）

基本レイアウト

分割仕切板位置を変えることで棚レイアウトが変えられます。
下のレイアウト図を参考に、お好みに応じてレイアウトを変更してください。
※天板を取付けた後は分割仕切板を変更できない場合があります。
※照明クランプは、上棚の左右両端のみに取付けられます。

※着脱仕切板は、小引出し棚板に付けることはできません。

棚ユニットの外し方

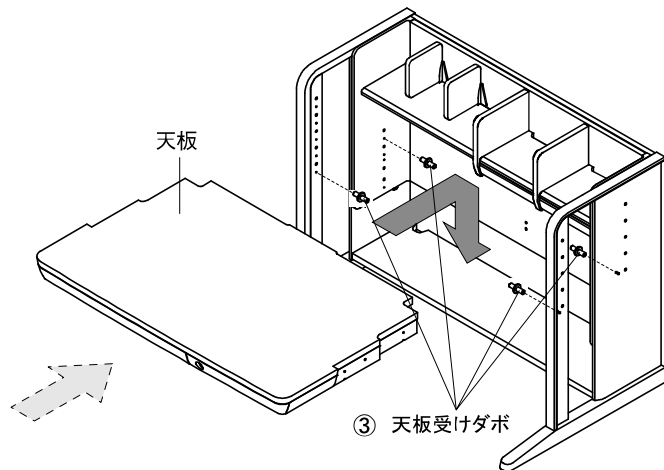
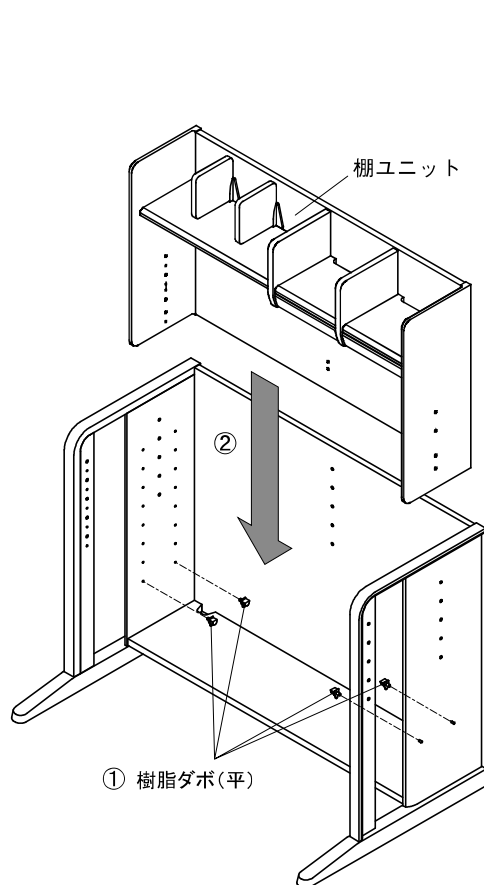
レイアウトを変更する場合は、棚ユニットを外してから
組替えてください。

① 小引出しを抜き取ってください。

コネクトボルト

分割仕切板

② 可動棚板は固定ねじで固定されています。取外しは固定ねじを取外し、棚板を手前に引き出してください。
※棚板を外さないと着脱仕切板の取外しはできません。

③ 後面よりコネクトボルトをゆるめ分割仕切板を外します。

④ 組付ける時は、取外す方法の逆の手順で組付けてください。

5-1 棚ユニットの組付けと天板の組付け（上棚タイプ）

①樹脂ダボをデスク天板高さ図（P4、P5）を参考にお好みの位置に差し込んでください。

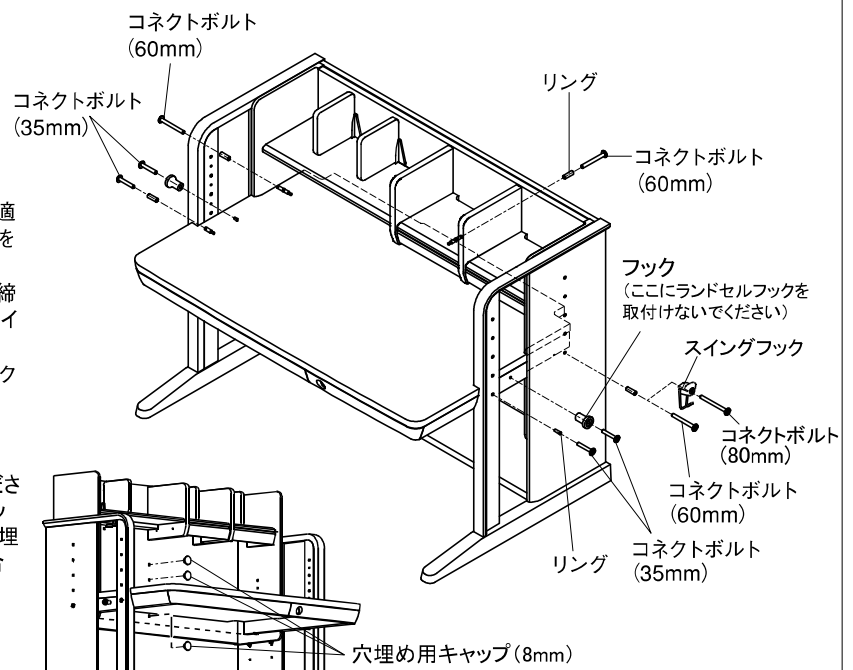
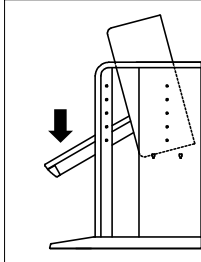
②棚ユニットの仮置き
棚ユニットを樹脂ダボの上に載せます。

③天板の仮置き（天板の固定高さを決めてから行ってください）。
図の位置のダボ穴4ケ所に、天板受けダボを取付け、天板ユニットを天板受けダボに載せてください。（側板2ケ所・棚ユニット側板2ケ所）

※天板受けダボ、樹脂ダボは、それぞれ同じ高さの穴に取付けてください。
高さが違っていると、天板が落下する恐れがあり、大変危険です。
※構造上、棚ユニットを取付けない状態で天板を取付けることはできません。

⚠注意 天板高さを変更する際は、天板受けダボ・樹脂ダボが取付いている事を確認してから、コネクトボルトを外してください。

④天板の固定とフックの取付け
天板の仮置きが終わりましたら、その高さに適合した側板及び後面板の外側の穴にリングを挿し込み、コネクトボルトで締め付けます。
この時側板奥側は、天板と棚ユニットを共締めします。側板後側の左右どちらか片側にスイングフックを共締めします。
次に天板ユニット横にお好みに応じてフックを取付けてください（両側2ケ所）。

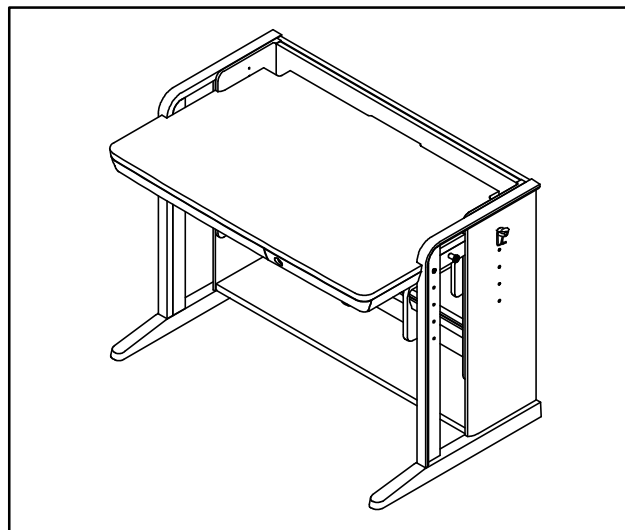
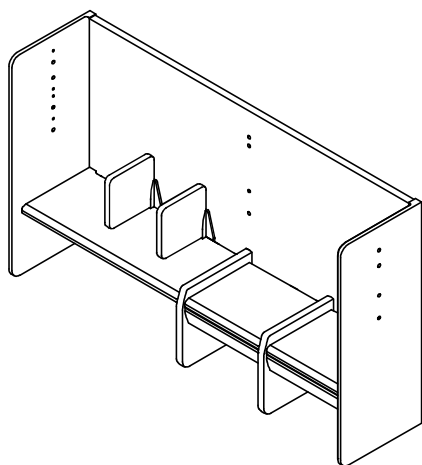
⑤図の場所に穴埋め用キャップを取付けてください。上棚の高さにより全ての穴埋め用キャップが取付かないことがありますが、余った穴埋め用キャップは、組替え時に必要になる場合がありますので、大切に保管してください。

⚠天板仮設置時の注意

棚ユニット、天板を仮置きしている時は棚ユニット、天板が倒れ易い状態となっています。取扱いに気を付け、すみやかにコネクトボルトで固定してください。

※専用３段ワゴンご購入のお客様へ

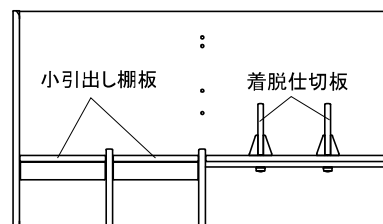
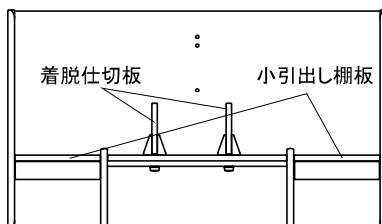
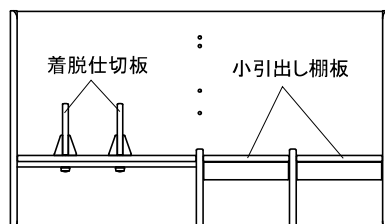
3段ワゴン引出しユニット収納について

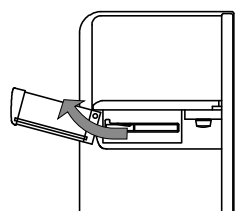
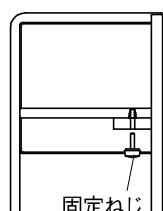
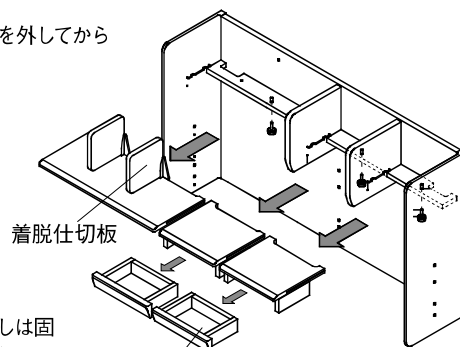
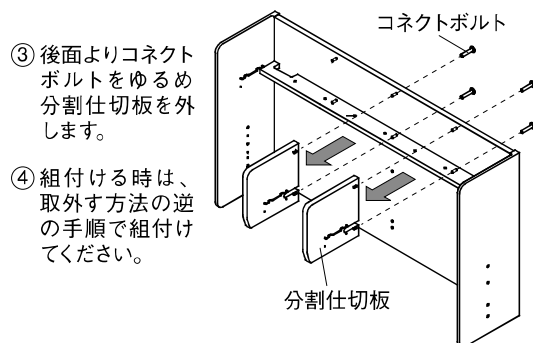
デスク天板の高さを3号以下でお使いいただく場合、3段ワゴン引出しユニット（上部引出し）を分割する必要があります。
引出しユニットは本体に可動上棚機構があるため<u>収納することができません。</u>
3段ワゴン引出しユニットは紛失しないよう大切に保管してください。

3-2 棚ユニットの機能と使い方（平机下棚タイプ）

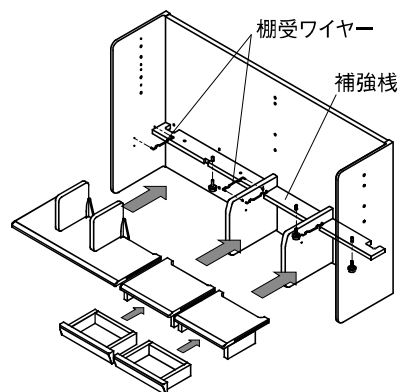
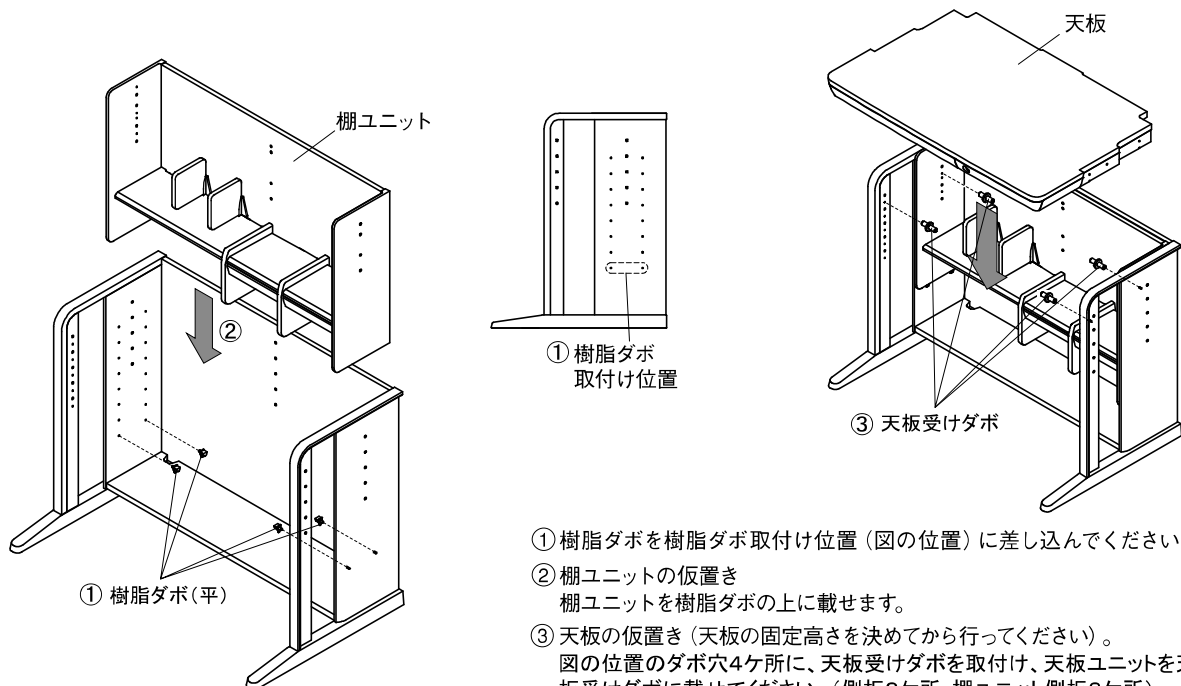
※天板高さ最上段（JIS6号）時のみ、平机下棚タイプを構成できます。

基本レイアウト

仕切り位置を変えることで分割仕切板で棚レイアウトが変えられます。
下のレイアウト図を参考に、お好みに応じてレイアウトを変更してください。
※天板を取付けた後は分割仕切板を変更できない場合があります。

※着脱仕切板は、小引出し棚板に付けることはできません。

棚ユニットの外し方

レイアウトを変更する場合は、棚ユニットを外してから組替えてください。

① 小引出しを抜き取ってください。

② 可動棚板は固定ねじで固定されています。取外しは固定ねじを取外し、棚板を手前に引き出してください。
※棚板を外さないと着脱仕切板の取外しはできません。

小引出し（あらかじめ抜き取ってください）

③ 後面よりコネクトボルトをゆるめ分割仕切板を外します。

④ 組付ける時は、取外す方法の逆の手順で組付けてください。

⑤ 補強桟が下にくるように棚ユニット全体を逆さに置いてください。この場合、棚受ワイヤーを補強桟の上にくるように設置してください。

4-2 棚ユニットの組付けと天板の組付け（平机下棚タイプ）

①樹脂ダボを樹脂ダボ取付け位置（図の位置）に差し込んでください。

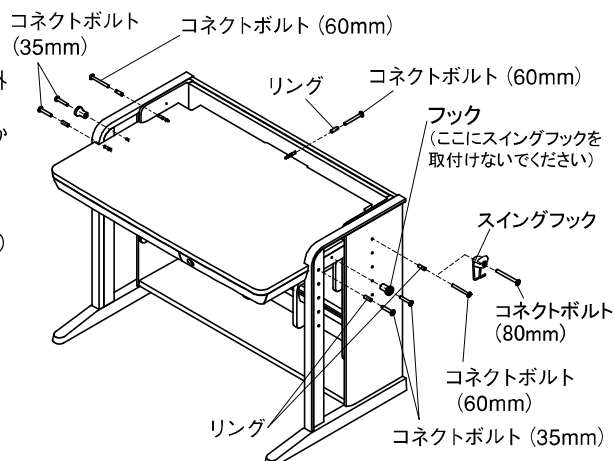
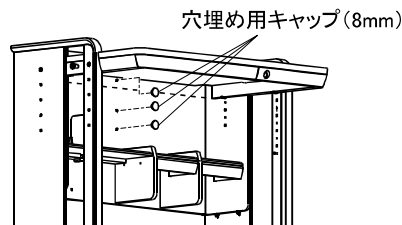
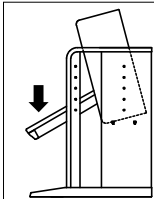
②棚ユニットの仮置き
棚ユニットを樹脂ダボの上に載せます。

③天板の仮置き（天板の固定高さを決めてから行ってください）。
図の位置のダボ穴4ケ所に、天板受けダボを取付け、天板ユニットを天板受けダボに載せてください。（側板2ケ所・棚ユニット側板2ケ所）

※天板受けダボ、樹脂ダボは、それぞれ同じ高さの穴に取付けてください。
高さが違っていると、天板が落下する恐れがあり、大変危険です。
※構造上、棚ユニットを取付けない状態で天板を取付けることはできません。

⚠注意 天板高さを変更する際は、天板受けダボ・樹脂ダボが取付いている事を確認してから、コネクトボルトを外してください。

④天板の固定とフックの取付け
天板の仮置きが終わりましたら、その高さに適合した側板及び後面板の外側の穴にリングを挿し込み、コネクトボルトで締め付けます。
この時奥側は、天板と棚ユニットを共締めします。側板後側の左右どちらか片側に スイングフックを共締めします 。次に天板ユニット横にお好みに応じてフックを取付けてください（両側2ケ所）。

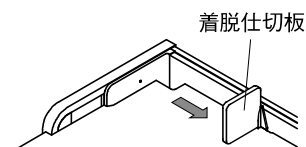
⑤図の場所に穴埋め用キャップを取付けてください。

⚠天板仮設置時の注意

棚ユニット、天板を仮置きしている時は棚ユニット、天板が倒れ易い状態となっています。取扱いに気を付け、すみやかにコネクトボルトで固定してください。

※専用３段ワゴンご購入のお客様へ

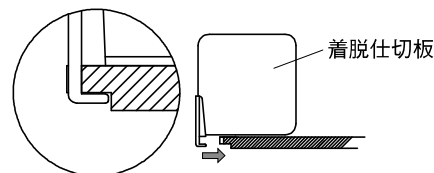
3段ワゴン引出しユニット収納について

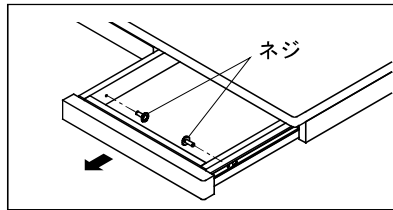
デスク天板の高さを3号以下でお使いいただく場合、3段ワゴン引出しユニット（上部引出し）を分割する必要があります。引出しユニットは本体に可動上棚機構があるため収納することができません。3段ワゴン引出しユニットは紛失しないよう大切に保管してください。

着脱仕切板について

●天板取付け

着脱仕切板はお好きなところに取付けすることができます。
着脱仕切板は、棚ユニットから外し、天板にも取付けることができます。

●棚ユニット取付け

着脱仕切板

■引出しの取外し方法

●引出し枠板の内側からネジを外すと、引出しを取外すことができます。

■製品廃棄について

不要になった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。
廃棄の際は法令に従った適切な廃棄処理をお願いいたします。 ご不明な点はご相談ください。

修理と製品保証について

この度はオカムラ スタディデスクをお買い上げいただき、誠にありがうございます。
この製品は、厳密なる品質管理および検査を経てお届けしております。
万一保証期間内（一般社団法人 日本オフィス家具協会のガイドラインに基づく）に故障した場合は無料にて修理をさせていただきます。
（お客様購入日よりの指定期間、不具合箇所・現象の例による。）

修理は、お買い上げの販売店に、必ず本保証書を添えて、ご依頼ください。

所定記入の無い場合は、保証書と一緒に、ご購入先の領収書を保存しておいてください。

保証書

保証期間	不具合箇所・現象の例					期　間
	外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色、クロスの磨耗				1年
	機構部・可動部	引出し、スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構の故障				2年
	構造体	強度、構造体にかかわる破損				3年
品　　名	デスク	品　番	865YLA	お買上日	年　　月　　日	
おところ		販売店名				
お 名 前		㊞				

1. 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
   イ）組立て・取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかったことが原因での故障。
   ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障。
   ハ）お買い求めの販売店、もしくは当社以外での修理・改造などによる故障。
   ニ）本書にお買い上げ年月日、販売店等、本保証書所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ホ）保証書の提示がない場合。
   ヘ）消耗部品の交換。
   ト）火災、塩害、異常電圧、地震、雷、風水害、その他天災地変などによる故障。
2. 運賃等の諸経費はお客様にご負担いただく場合があります。
3. 本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
4. 修理用部品の最低保有期間は、製品の製造中止後5年間とさせていただきます。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

尚、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店にお問い合せください。

株式会社 岡村製作所　〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-4-1 天理ビル19階

組替え方法について、弊社ホームページに代表的な製品の組替え方詳細を掲載しておりますので、ご確認ください。　http://www.pierna.jp/

よい品は結局おトクです
オカムラ
株式会社 岡村製作所　インテリア営業部　製品開発室
ホームページアドレス　http://www.okamura.co.jp/
お問い合わせ・ご相談は お客様サービスセンターへ　フリーダイヤル 0120-81-9060
受付時間 9:00〜17:20（土・日・祝日を除く）

T1405-27